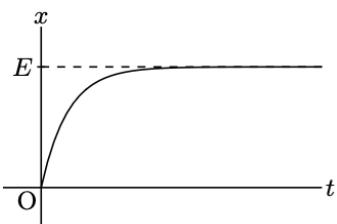
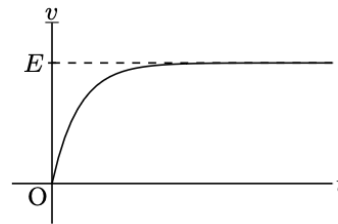
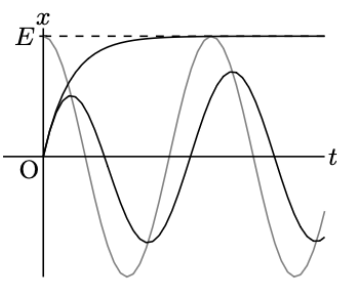
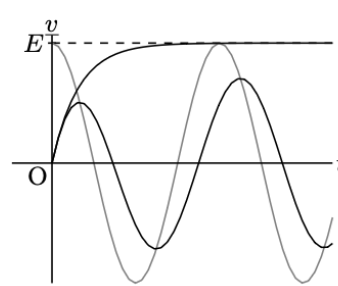


ページ	該当箇所	
81	問 1	訂正前 D を () 内の不等式の表す領域とすると、次の 2 重積分の値を極座標変換によって求めよ。ただし、a は正の定数とする。 訂正後 D を () 内の不等式の表す領域とすると、次の 2 重積分の値を極座標変換によって求めよ。
105	例題 3	訂正前 訂正後
	2 行	(2) $\frac{dx}{dt} = \frac{x^2+1}{x}$ (2) $\frac{dx}{dt} = \frac{x^2-1}{x}$
	8 行	訂正前 (2) 両辺を $\frac{x^2+1}{x}$ で割ると $\frac{x}{x^2+1} \frac{dx}{dt} = 1$ 訂正後 (2) 両辺を $\frac{x^2-1}{x}$ で割ると $\frac{x}{x^2-1} \frac{dx}{dt} = 1$
	9 行	訂正前 両辺を t について積分すると $\int \frac{x}{x^2+1} dx = \int dt$ 訂正後 両辺を t について積分すると $\int \frac{x}{x^2-1} dx = \int dt$
	10 行	訂正前 $u = x^2+1$ とおくと、$du = 2xdx$ より $\frac{1}{2} \int \frac{1}{u} du = \int dt$ 訂正後 $u = x^2-1$ とおくと、$du = 2xdx$ より $\frac{1}{2} \int \frac{1}{u} du = \int dt$
	13 行	訂正前 $C = \pm e^{2c}$ とおくと、$u = x^2+1$ より $x^2+1 = Ce^{2t}$ 訂正後 $C = \pm e^{2c}$ とおくと、$u = x^2-1$ より $x^2-1 = Ce^{2t}$
	14 行	訂正前 よって、求める一般解は $x^2 = -1 + Ce^{2t}$ (C は任意定数) // 訂正後 よって、求める一般解は $x^2 = 1 + Ce^{2t}$ (C は任意定数) //

(裏面に続く)

109	上の図の縦軸	訂正前 	訂正後 
	下の図の縦軸	訂正前 	訂正後 
137	例題 4 の解	訂正前 (ii) $a < -1$ のとき, $-a > 1$ だから, (1) を用いると 訂正後 (ii) $a < -1$ のとき, $-a > 1$ だから, <u>(i)</u> を用いると	